

言葉・コミュニケーションにおける特性の例  
対人関係・社会性における特性の例



言葉を字義どおりに受け止めてしまう



話し方のルールがわからない



相手の気持ちが読み取りにくい

# こんなことで困っているよ 大人と子どもの発達障害

発達障害には様々な現れ方があります。  
どのように現れ、どの程度困難なのかは人それぞれに異なります。

## 大人になって気づく発達障害

大人の発達障害で多いのは、アスペルガー症候群と注意欠如多動性障害ADHDです。知的な遅れを伴わない場合が多いため子どもの頃に気づきにくいですが、就職して社会にでると、人間関係が一気に複雑になった頃発達障害に気づきます。

## 自閉症

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

## 広汎性発達障害

### アスペルガー症候群

- 基本的に言葉の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたよりの不器用(言語発達に比べて)

知的な遅れを伴うことがある

## 学習障害 (LD)

- 「読む」「書く」「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

## 注意欠陥多動性障害 (ADHD)

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁(じっとしていられない)
- 衝動的に行動する(考えるよりも先に動く)

厚生労働省発行「発達障害の理解のために」から引用

パターン化した行動、興味・関心のかたよりの例



同じ動作を繰り返す



特定の物や事柄にこだわる



ある特定の分野への知識・興味が極端に強い

不器用さや感覚における特性の例



感覚が極端に敏感、または鈍感

学習における特性の例



知的な遅れを伴わないが、読み・書き・計算のうち特定のことで極端な困難が見られる

不注意・多動・衝動性の例

## 大人になって気づく発達障害



同じ失敗をする

同じ年齢の人に比べ、注意力や集中力が極端に少ない

考える前に思い付いた行動を唐突に行う

以上の事例と同じような特性があったとしても必ずしも発達障害があるというわけではありません。